

自民山陰4議席独占

鳥取

1区 石破氏盤石の10選 2区 赤沢氏手堅く制す

第47回衆院選が14日投票開票され、山陰両県4小選挙区は自民党前職が全勝し、議席を独占した。鳥取1区は石破茂氏、公明党推薦が、共産党新人の塚田成幸氏を退けて10選。鳥取2区は赤沢亮正氏、同が、民主党元職の湯原俊二氏、共産党新人の福住英行氏を抑え、4選を果たした。鳥根

1区は細田博之氏、同が9選、鳥根2区は竹下亘氏、同が6選をそれぞれ決めた。民主、社民両党の3候補は、重複立候補した比例中国ブロックでも復活できなかった。投票率は、鳥取県が前回選に比べ8・54ポイント減の54・38%、鳥根県は6・50ポイント減の59・24%で、共に戦後最低を記録した。

△1区▽

盤を生かして共産党新人の石破茂氏に、民主党の不戦敗も相まっ。塚田成幸氏を圧倒し、10選で高票をたたき出した。石破氏は消費増税再増税先をめぐり、安倍政権の経済政策「アベノミクス」

波が及んでいない地方への創生をアピール。農林水産業や観光業の振興といった具体像を示し、地域経済再生の期待を引き寄せた。公明党のほか、建設、農業、

た前回と違い、守る戦い。など150以上の党支持団

の解散で短期決戦となり、支持固めの徹底に腐心。閣僚として各地の応援に回りながら、2度地元入りして支持者を鼓舞した。

住英行氏は支持の広がりを示す。選挙戦中に自民大勝を予測する報道が出る。支持の呼び戻しを招く。支持の呼び戻しを招く。

鳥取選挙区開票結果

1区 (14日午後10時52分、選管最終)				
当93,105票	石破 茂	57	自前	
22,888票	塚田 成幸	50	共新	
2区 (14日午後10時58分、選管最終)				
当76,579票	赤沢 亮正	53	自前	
49,297票	湯原 俊二	52	民元	
10,270票	福住 英行	39	共新	

テレビ欄は14面

短期決戦の中、地域支部と県議、市町村議、後援会も円滑に稼働した。公明党の推薦を得たほか、安倍政権の農政改革を取り付け、盤石の組織戦を展開した。湯原氏は環境の拠点調整をめぐり、選挙区入りは最終日のみ。しかし、県選出の党参院議員や首長、県議らが「不在選挙」をカバリーした。現職関係にふさわしい勝利を目指し、得票率70%を目標に電話作戦などを通じて票を積み上げた。

山本氏はアベノミクスを批判し、消費税率を5%に戻すことなどを主張。だが、出馬表明が遅れた上、連合鳥根が支持にとどめるなど、非自民、非共産勢力の共闘が機能しなかった。向瀬氏は訴えが似通った山本氏の立候補が影響。環太平洋連携協定(TPP)への参加に反対する農家を回り、自民支持層の切り崩しを狙ったが、浸透しなかった。

1区 細田氏大差で9選 2区 竹下氏2新人圧倒

鳥根

△1区▽

新人を圧倒した。細田氏は、アベノミクスが、民主党の和田章一郎氏、させるとし、中小企業の経営支援対策の必要性を説いた。

た。原子力規制委員会の審査をクリアした原発の再稼働も訴えた。公示後は、他県の自民党候補の応援で鳥根が限られたため、県議らが推薦を取り付けた約170の企業、団体を含む組織戦に注力。これに対し、和田氏は安

△2区▽

票の獲得を狙ったが、及ばなかった。自民党前職の竹下亘氏が、厚い支持基盤を生かした組織戦で、社民党新人の山本善氏と共産党新人の向瀬慎一氏を下した。

比例中国

共産11年ぶり議席

山陰民・社 公明・斉藤氏8選

復活ならず

比例中国ブロック(定数11)は、自民党が5議席、公明党が2議席でそれぞれ改選前を維持した。2012年の前回選で4減となった民主党は改選前と変わらず2議席とまり、これに対し、共産党が1議席を獲得し、03年に失って以来、11年ぶりに取り戻した。維新の党は1議席、次世代の党、社民党は、鳥根2区に立候補した山本善氏(57)を名簿に唯一載せたが、中国地方全体で党の得票が伸び悩み、03年に失った議席の奪還はならなかった。一方、単独の立候補者は公明党の名簿1位に登載された前職の斉藤鉄夫氏(62)が、鳥根県鳥南町出身が、8選を果たした。



4選を果たし、花束を掲げて喜びの赤沢亮正氏—14日午後8時17分、米子市加茂町1丁目、選挙事務所



花束を手に笑顔を見せる石破茂氏—14日午後8時7分、鳥取市戎町、選挙事務所

2区

あかさわ 赤沢 亮正 (自民、前)

内閣府副大臣。1984年、運輸省(現国土交通省)入省。旧日本郵政公社を経て、2005年の衆院選鳥取2区に立候補し、初当選した。東京大学法学部卒。米子市日出町1丁目。当選4回。

1区

いしば 石破 茂 (自民、前)

地方創生担当相。銀行員を経て1986年の衆院選で初当選。防衛相、農相、党政調会長などを歴任。2012年9月から2年間、党幹事長を務めた。9月から現職。慶応大学法学部卒。鳥取市上町。当選10回。

1区 (14日午後10時58分、選管最終)				
当100,376票	細田 博之	70	自前	
38,346票	和田 章一郎	67	民新	
17,479票	上代 善雄	60	共新	
2区 (14日午後11時29分、選管最終)				
当123,584票	竹下 亘	68	自前	
34,558票	山本 慎一	57	社新	
20,479票	向瀬 慎一	43	共新	

2区

たけした 竹下 亘 (自民、前)

復興相。NHKの経済ニュースキャスター、兄の故・竹下登元首相の秘書を務めた後、2000年衆院選で初当選。党県連会長。慶応大経済学部卒。雲南市掛合町出身。東京都世田谷区下馬。当選6回。

1区

ほそだ 細田 博之 (自民、前)

党幹事長代行。旧通産省に入省。退職後、父の故・細田吉蔵元運輸相の秘書を経て、1990年に衆院選・旧鳥根全県区で初当選。官房長官、党幹事長を歴任。東京大学法学部卒。松江市堂形町。当選9回。